



株主の皆様へ

# 第34期 株主通信

平成28年4月1日～平成29年3月31日

 株式会社 **カネ三ツ**

証券コード7208

# トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

ここに平成28年度の事業結果の概況をご報告申しあげます。

今後とも当社の経営に対する深いご理解と、より一層のご支援を賜りますようお願い申しあげます。

代表取締役社長

金光俊明



## 目次

トップメッセージ	1	製品紹介	10
株主の皆様へ	2	財務ハイライト	11
特集	3	株式の状況	14

---

## 総売上高は9,061百万円となり 過去最高を更新

---

当連結会計年度における日本経済は、企業収益や雇用情勢に改善がみられ、緩やかな回復基調で推移しました。

自動車業界におきましては、軽自動車税増税の影響が残り軽自動車販売は低迷したものの、登録車が好調だったこともあり、国内の自動車販売台数は507万台と3年ぶりに前年度比で増加に転じました。

こうしたなか、当社グループは、アジア市場での生産体制の強化と拡販体制の整備を進め、主力商品のプールのグローバル競争力の強化を推進するとともに、次代商品の研究、開発に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、総売上高は9,061百万円（対前期比7.5%増加）となりました。利益面では、営業利益1,007百万円（対前期比47.8%増加）、経常利益967百万円（対前期比70.2%増加）、親会社株主に帰属する当期純利益767百万円（対前期比85.3%増加）となりました。

地域別では、日本は売上高6,058百万円（対前期比13.7%増加）、営業利益523百万円（対前期比287.9%増加）となりました。東南アジアは、売上高2,113百万円（対前期比8.3%減少）、営業利益127百万円（対前期比40.2%減少）となりました。中国は、売上高1,222百万円（対前期比6.6%減少）となり、営業利益266百万円（対前期比6.7%増加）となりました。

---

## 次期の業績予想について

---

次期の業績予想は、売上高9,700百万円、営業利益1,150百万円、経常利益1,120百万円、親会社株主に帰属する当期純利益810百万円を見込んでおります。

## 第7次中期経営計画がスタートしました

世界経済のリスク要因である米国の政策運営や欧州の政治情勢、中国経済など世界各地で政治・経済両面にわたり不透明な要因が増えています。

また、自動車業界におきましても、当社がおもに事業展開していますアジアでの自動車購入層の広がりにより、自動車生産台数は拡大基調が続くものと期待されます。

しかし、車の電動化や自動運転など、車そのものが大きく変革していき、自動車各社の競争が激化していきます。当社としましても、グループ各社の一層の関係が重要になると考えております。

このような環境の下、当社グループとしましては、2019年を達成年度とする「第7次中期経営計画」を策定し、次の3つの基本戦略のもと主力製品プーリに続く、新しい事業の柱となる次代商品の創出を最重要課題として取り組んでまいります。

### 1. 次代商品の開発と拡販

#### 新たな事業分野、市場への参入をめざす

当社固有の回転成形技術、プレス増肉技術の鋼板素材への更なる応用展開と、ステンレスやアルミ、チタンなど鋼板以外の素材での製品化研究を進め、新たな事業分野、市場への参入をめざしてまいります。

- ・ 保有する技術、設備、人材を最大限に活かした商品の開発
- ・ 自動車以外の新たな事業分野への参入



## 2. 生産体制の再整備

### 収益力のある生産体制の整備

プーリの生産性を高めるためのライン統廃合、次代商品の生産を見据えた工場レイアウトの見直しや、生産設備の更新、品質の向上などに取り組み、収益力のある生産体制の整備を進めてまいります。また海外拠点への支援を強化し、グループ全体で総合的な効率経営に努めてまいります。

- ・顧客の心をつかむ品質の実現
- ・もうかる生産現場づくり
- ・海外拠点への支援強化



## 3. 経営基盤の強化

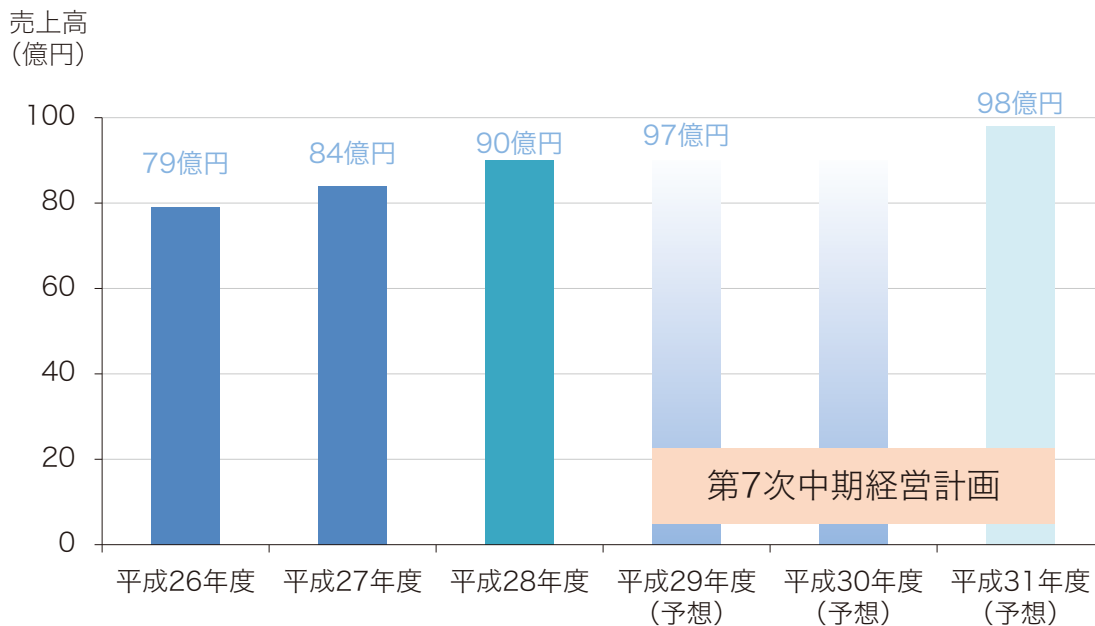
### 人材第一

中長期的な企業成長を維持するために、必要技能の向上やグローバルに活躍できる人材育成の計画的な推進と、国籍、性別問わず活躍できる環境整備に注力してまいります。また、ガバナンス体制とコンプライアンスの強化に努め、経営の健全性、透明性など社会から信頼される企業をめざすとともに、社員が安全で安心して働ける職場づくりを進めてまいります。

- ・人材の計画的な育成
- ・ガバナンス体制とコンプライアンスの強化
- ・安全で安心して働ける職場づくり



## 連結売上高推移・予想



## 中期経営計画 業績目標

	平成31年度 (2020年3月期)
売上高	9,800 百万円
営業利益	890 百万円
営業利益率	9 %以上

## 創業70周年記念配当実施のお知らせ

当社は昭和22年に創業し、本年に70周年を迎えました。これもひとえに株主の皆様をはじめ関係各位の長年にわたる温かいご支援の賜物と心より御礼申し上げます。

つきましては、株主の皆様への感謝の意を表するため、1株当たり2円の記念配当を実施することとし、期末配当の50銭増配とあわせて第34期の期末配当は12円となります。

70周年を迎えたことに心から感謝し、役員・社員一丸となって今まで以上に社会に必要とされる企業をめざしてまいります。

### 1株当たり配当金

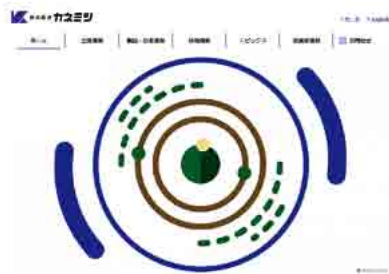
基準日	第2四半期末	期末	合計
当初計画 (平成28年5月12日発表)	円 銭 9.50	円 銭 9.50	円 銭 19.00
第34期実績 (平成29年3月期)	9.50	12.00 (普通配当 10.00) (記念配当 2.00)	21.50 (普通配当 19.50) (記念配当 2.00)
(参考) 第33期実績 (平成28年3月期)	9.00	9.50	18.50

## ホームページをリニューアルしました

平成29年4月6日付けで当社のホームページをリニューアルしました。

また、新ページとして企業情報内に「カネミツの歩み」（当社の歴史について）、採用情報内に「カネミツの人たち」（従業員の声を紹介）を新設しておりますので是非ご覧ください。

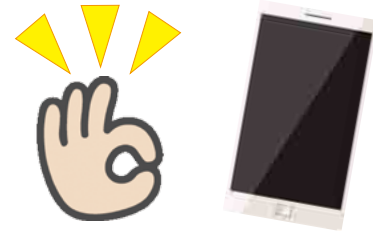
トップページURL：<http://kanemitsu.co.jp/>



**回る地球の独創技術**

スマートフォン対応

ホームページ内の閲覧について、スマートフォン対応し、より見やすくいたしました。



新ページ「カネミツの歩み」

<http://kanemitsu.co.jp/company-info/history/>



新ページ「カネミツの人たち」

<http://kanemitsu.co.jp/recruit/voice/>



KANEMITSU VOICES

[詳しく見る](#)



## 企業版ふるさと納税に寄附しました

平成27年、長崎県長崎市に4番目の拠点として進出しました。この地に感謝の意を表すとともに今後の発展を祈念し、企業版ふるさと納税に寄附しました。

### ■長崎県企業版ふるさと納税

地域貢献を目的に「地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）」の長崎県「地域の将来を担い支える若者の人材育成プロジェクト」に寄附しました。

掲載ページ：[https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kenseijoho/kennokeikaku-project/kigyo\\_furusato/](https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kenseijoho/kennokeikaku-project/kigyo_furusato/)

※長崎県HPより



長崎県知事より感謝状を授与されました。  
(写真右から 長崎県知事・当社代表取締役社長 金光俊明)

### ■長崎市企業版ふるさと納税

世界新三大夜景の魅力向上プロジェクト（スロープカー整備）に寄附しました。

掲載ページ：<http://www.city.nagasaki.lg.jp/shimin/130000/138000/p029737.html>

※長崎市HPより

### ■IRメール配信サービスのご案内

当社では株主・投資家の皆様向けに、最新のプレスリリースなどのIR情報をEメールにてお知らせするメール配信サービス「RIMS」を導入しております。

パソコンのメールアドレスをお持ちの方は無料でご登録いただけますので、是非ご利用くださいますようお願い申し上げます。

配信をご希望の方はこちら (<http://rims.tr.mufg.jp/?sn=7208>) から簡単にご登録いただけます。

ホームページからご登録される方は下記バナーをクリックしてください。

▶ IR情報のメール配信ご登録 RIMSNET service

## 佛山金光汽車零部件有限公司（中国）第2工場建設に着工予定です



佛山金光汽車零部件有限公司（中国）の敷地内に第2工場の新設を決定しました。これにより生産能力を現状の2倍に引き上げます。

今後も順調な受注が見込まれるプーリ事業の増産に対応してまいります。

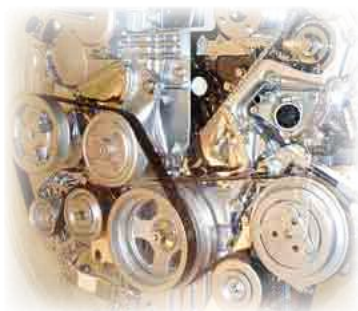
### <佛山金光汽車零部件有限公司概要>

所在地：中華人民共和国広東省佛山市禅城区南庄镇広東佛山禅城經濟開發区  
吉利工業園新源2路45号

竣工：平成30年2月（予定）

事業内容：自動車用プーリ、金属加工品および金型・治具の製造・販売

## プーリー事業

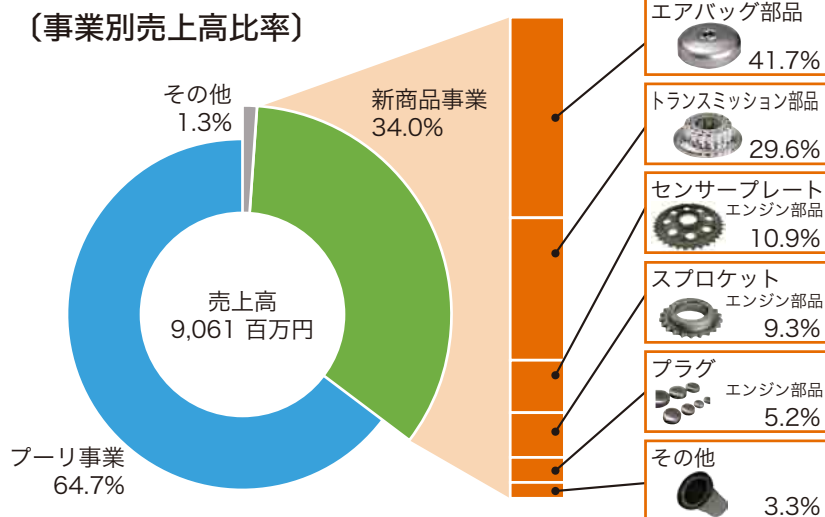


エンジンに取り付けられたプーリー

### 当社独自の薄鋼板製の軽量プーリー アジアでの更なる拡販をめざします。

売上の約6割を占める主力商品プーリーは、自動車や農業機械などのエンジンの動力伝達に欠かせない機能部品です。一枚の薄鋼板から製品を一体成形する独自のプレス加工と回転成形技術は当社のOnly-One工法であり、高品質、低コストの製品づくりを実現しています。

アジアでのプーリーの生産、拡販のためKTTC（カネミツ・タイランド・テクニカル・センター）（タイ）へのプーリー設計開発機能の移管を進めています。



## 新商品事業

### プーリーで培ってきた技術を応用し、 新商品事業へ展開していきます。

急速に進む自動車のHV・EV化への変化に対応し、プーリー以外のエンジン部品、エアバッグ部品、トランスミッション部品などの新商品事業を展開してまいります。

また、回転成形技術とプレス技術を両輪とする独自の「金属塑性加工技術」「金型・設備の開発」を当社の強みであることを再認識し、お客様に喜んでいただける商品の開発を進めてまいります。



スプロケット (エンジン部品)



インフレーター (エアバッグ部品)



センサープレート (エンジン部品)

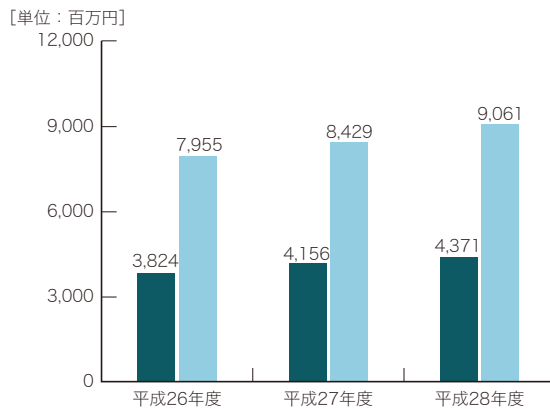


ピストン (トランスミッション部品)

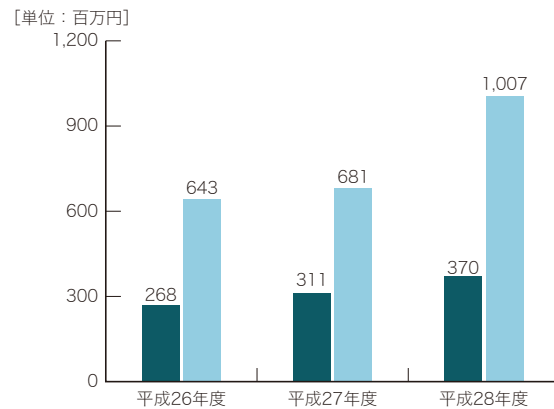
## 連結業績の推移

■ 第2四半期 ■ 通期

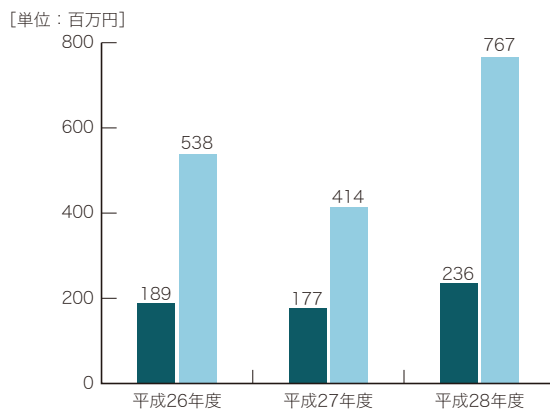
### 売上高



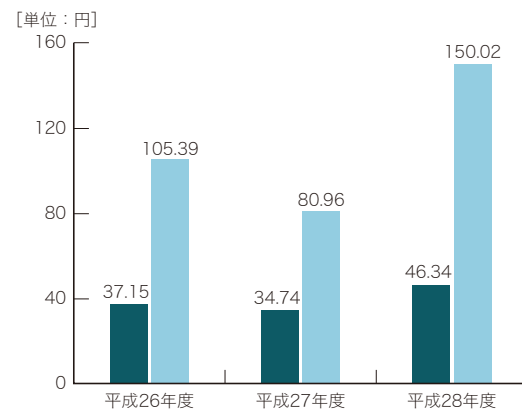
### 営業利益



### 親会社株主に帰属する当期純利益



### 1株当たり当期純利益



連結貸借対照表(要旨)

[単位：千円]

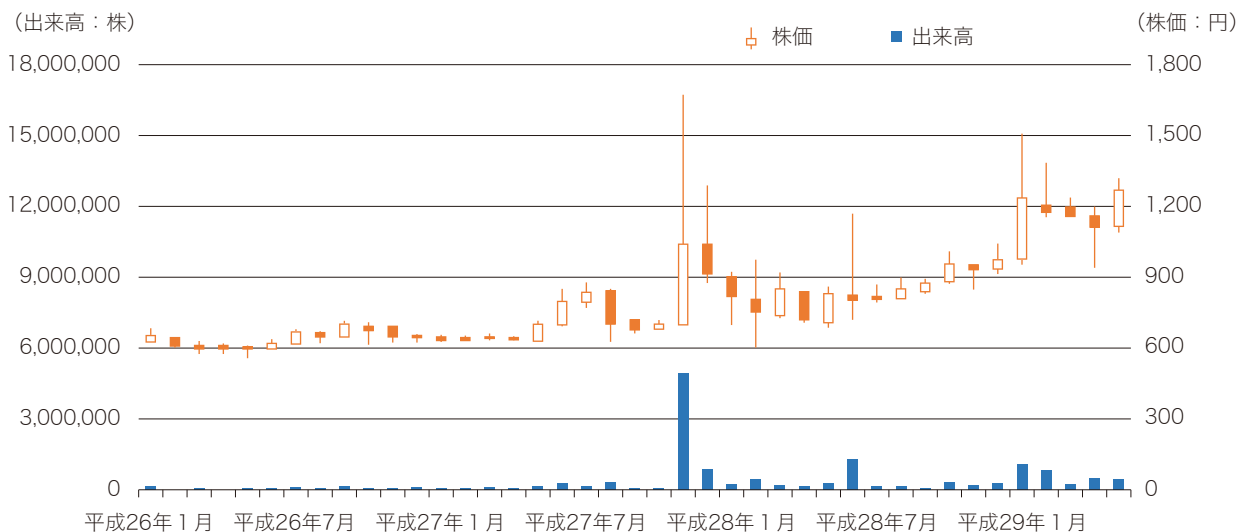
	当連結会計年度末 (平成29年3月31日)	前連結会計年度末 (平成28年3月31日)
資産合計	12,751,095	11,768,898
負債合計	4,498,081	4,221,467
純資産合計	8,253,014	7,547,431
負債純資産合計	12,751,095	11,768,898

連結損益計算書(要旨)

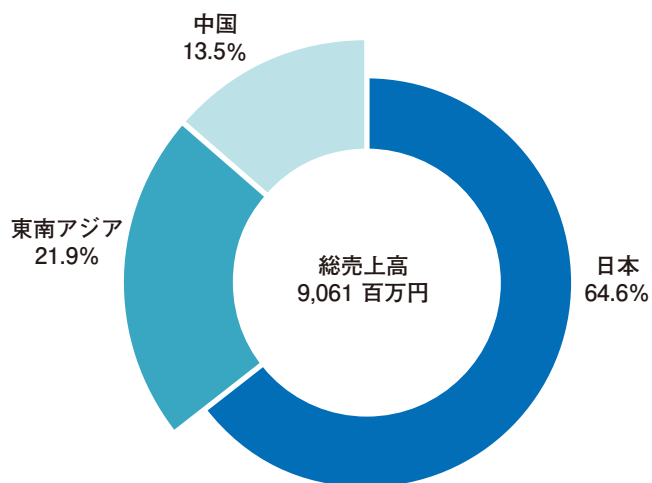
[単位：千円]

	当連結会計年度末 (平成29年3月31日)	前連結会計年度末 (平成28年3月31日)
売上高	9,061,315	8,429,705
売上総利益	2,534,452	2,087,796
営業利益	1,007,217	681,614
営業外収益	24,175	26,413
営業外費用	63,617	139,280
経常利益	967,776	568,747
特別利益	173,756	9,656
特別損失	97,563	19,329
税金等調整前 当期純利益	1,043,969	559,074
親会社株主に帰属 する当期純利益	767,106	414,011

過去3年間の株価チャート



## セグメント別売上高構成



## セグメント別売上高

[単位：千円]

		当連結会計年度末 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)
日本	外部顧客への売上高	5,857,512
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	201,150
	計	6,058,663
東南 アジア	外部顧客への売上高	1,981,309
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	131,988
	計	2,113,297
中国	外部顧客への売上高	1,222,493
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	230
	計	1,222,723
調整額		△333,369
計 (連結)		9,061,315

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

[単位：千円]

	当連結会計年度末 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	前連結会計年度末 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,486,202	885,919
投資活動によるキャッシュ・フロー	△545,549	△803,771
財務活動によるキャッシュ・フロー	△287,182	16,646
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,835	△40,154
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	640,636	58,639
現金及び現金同等物の期首残高	1,206,848	1,148,208
現金及び現金同等物の期末残高	1,870,242	1,206,848

# 株式の状況

発行可能株式総数 17,000,000株  
発行済株式の総数 5,119,477株

## 大株主(上位10名)

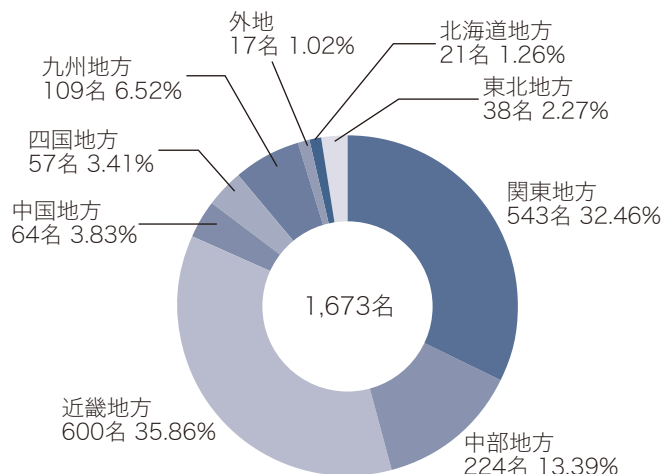
株主名	持株数	持株比率
カネミツ従業員持株会	515千株	10.08%
大阪中小企業投資育成株式会社	348千株	6.81%
金光俊明	322千株	6.30%
金光之夫	295千株	5.77%
金光正弘	204千株	3.98%
バンドー化学株式会社	141千株	2.76%
明治安田生命保険相互会社	136千株	2.66%
日本生命保険相互会社	136千株	2.66%
金光秀治	135千株	2.64%
JFE商事株式会社	119千株	2.33%

(注)持株比率は自己株式数(6,202株)を控除して計算しております。

## 会社の概況

商号	株式会社カネミツ
本社所在地	兵庫県明石市大蔵本町20番26号
創業	昭和22年1月10日
設立	昭和25年12月27日
資本金	551,099,642円
代表者	代表取締役社長 金光俊明
従業員数	222名(単体) 578名(連結)
事業内容	自動車、農機用プーリ、その他金属塑性加工品の開発、製造および販売
事業所	工場：明石、三木、加西、長崎 研究所：加西、長崎 営業所：埼玉、愛知
子会社	KANEMITSU PULLEY CO., LTD. (タイ) 佛山金光汽車零部件有限公司 (中国) PT. KANEMITSU SGS INDONESIA (インドネシア)
関連会社	JBM KANEMITSU PULLEYS PRIVATE LIMITED (インド)

## 所在地株主数分布図



## 役員の状況

(平成29年6月22日現在)

代表取締役社長	金光俊明
取締役	大西将隆
取締役	金光秀治
取締役	藤井直樹
取締役	竹治康公*
取締役	林隆一*
常勤監査役	高橋康弘
監査役	阪東浩二**
監査役	上原健嗣**

\*会社法第2条第15号に定める社外取締役を示しております。

\*\*会社法第2条第16号に定める社外監査役を示しております。

# 株主メモ

証券コード 7208  
証券取引所 東京証券取引所市場第二部  
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月開催  
基準日 定時株主総会基準日 3月31日  
剰余金の配当基準日 期末 3月31日  
中間 9月30日

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関  
同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
TEL：0120-094-777(通話料無料)

公告方法

電子公告 当社ホームページ (<http://kanemitsu.co.jp/ir/library.html>)  
ただし、不測の事態により電子公告による公告ができない場合は、  
日本経済新聞に掲載します。

単元株式数

100株

## 【ご注意】

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社など）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。